

保健医療学研究科 博士後期課程(臨床検査学専攻)に

ついて

○平成 29 年 4 月の開講を目指している保健医療学研究科 博士後期課程(臨床検査学専攻)について、文部科学大臣から、平成 28 年 12 月 28 日付けで認可されました。

※博士後期課程の設置に合わせて、現在の修士課程は博士前期課程(臨床検査学専攻)に改称します。

○ここで掲載している内容は、開講時の内容であり、実際の設置に当たっては、今後、大学の設置条例等の一部改正手続きを得る必要があります。

○なお、募集要項の配布については、平成 29 年 3 月下旬以降にホームページ等で周知する予定です。

香川県立保健医療大学大学院博士課程設置に係る認可申請の概要

1 認可申請の区分

研究科の専攻の設置

大学院保健医療学研究科に博士後期課程（臨床検査学専攻）を設置する。

併せて、現在の修士課程は博士前期課程（臨床検査学専攻）に改称する。

2 博士後期課程の目的

新規かつ独創的な研究成果を発信し、知識基盤社会が求める 21 世紀の保健医療を先導する新しい研究領域を開発、確立し、より高度な専門的能力かつ広範な知識を有する教育者・研究者を育成する。

このことにより、新たな理論構築や先端技術開発への独創的な取組みが可能となり、地域の保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

【臨床検査学専攻】

博士前期課程の教育・研究を継承し、これらの実績に基づいた臨床検査学において更なる専門性の発展を目指し、人々の健康生活の質の向上や改善に資する研究成果を創出できる人材、すなわち、臨床検査学の学術的基盤に基づいた研究領域における研究の深化を図り、新しい研究領域を開発・確立し、新規かつ独創的な研究成果を発信することにより、臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力を備えた人材を育成する。

3 博士後期課程の概要

区 分	臨床検査学専攻
修 業 年 限	3 年
入 学 定 員	2 人
収 容 定 員	6 人
授 与 す る 学 位	博士（臨床検査学）
開 設 時 期	平成 2 9 年 4 月

4 教員組織の概要

区 分	臨床検査学専攻	備 考
教 授	1 0 人	※特任教授を含む。
准 教 授	5 人	
計	1 5 人	

5 博士後期課程の教育研究

⇒ 各専攻の教育研究の内容は、別添資料「香川県立保健医療大学大学院博士後期課程における教育研究の概要」のとおり。

6 施設・設備の整備

(1) 講義室

講義棟 2階 207 講義室 (面積 : 61.19 m²)

修士課程 (看護学専攻)、博士前期・後期課程 (臨床検査学専攻) で共用する。

(2) 院生研究室

実習棟 3階に、専用の院生研究室 (面積 : 57.69 m²) を整備する。

(3) 設備の整備

後期課程の院生研究室に、机、椅子、ロッカー、共用パソコン、共用プリンタ、コピー機器等を整備する。

香川県立保健医療大学大学院博士後期課程における教育研究の概要
【臨床検査学専攻】

博士前期課程の教育・研究を**発展的に深化・継承**

【専門共通科目】(必修)

○臨床検査学研究方法論

【専門科目】(選択)

○病原因子解析検査技術論

○病理病態検査技術論

○神経生理機能検査技術論

○遺伝子検査技術論

【特別研究】(必修)

○臨床検査学特別研究ⅠⅡⅢ

- ・ 臨床検査の幅広い研究テーマにおける問題を発見し解決に導く、研究仮説の立案、研究の遂行、仮説の実証に関する研究。
- ・ 細菌感染症に対する新しい治療法の開発に関する研究。
- ・ がんの早期発見に繋がる分子機構の解析に関する研究。
- ・ 神経系疾患の予防や抑制効果に関する研究。
- ・ 疾病の早期発見に繋がる遺伝子検査法の開発に関する研究。

＜育成する人材＞

博士前期課程における教育・研究の特色を発展的に深化・継承し、自らの研究によって研究領域を牽引できる、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、科学的検証能力、更に英語で研究成果を学界や社会に発信するグローバルな能力を備えた人材の育成を目指す。

- ① 臨床検査学領域における問題を発見し、解決に導く能力を身に付け、自ら研究仮説の立案、研究の遂行、仮説の実証ができる人材
- ② 自らの研究について、社会への説明能力があり、国際又は全国学会誌に研究成果を英文で発表できる人材
- ③ 臨床検査学の研究領域における高度な専門的能力と科学的検証能力を備え、臨床検査学領域で、将来的に教育者・研究者になりえる人材

＜期待される効果＞

- ・ 本学で博士（臨床検査学）の学位を取得することによって、臨床検査学に関する高度の専門性と科学的検証能力を活かして、県内の教育研究機関、医療機関、医療関連企業をはじめとする多様な分野において、中核的な教育者・研究者としての役割を担うことが期待される。